

羅臼町議会だより

しれとこ



鮭定置網漁'09

平成21年

第**124**号

11月10日

第3回定例議会	2～3
一般質問（2名5件）	4～5
診療所建設調査特別委員会	6
ズームアップ	7
研修会・議会の動き・編集を終えて	8

平成21年 第3回定例議会

去る9月17日、第3回定例議会が開かれました。町長の行政報告を初めに、診療所建設調査特別委員会報告、一般質問、一般会計補正予算などの審議が行われ、すべて原案通り可決しました。

一般会計 **1億9,815万円** **増額** 予算総額 **38億3,720万5千円**

歳出

知床・羅臼まちづくり基金積立金	160万円
テレビ中継局に要する経費	252万円
地域活性化・経済危機対策臨時交付金に要する経費	1億3,572万円
内 訳	
・羅臼町国保診療所建設実施設計委託料	2,170万円
・町営住宅等火災報知器設置工事	333万円
・消火栓新設工事	114万円
・給食センター補修工事	931万円
・公民館駐車場整備工事	1,400万円
・役場庁舎補修工事	767万円
・町民体育館・公民館補修事業	800万円
・社会福祉施設補修工事	70万円
・戸籍管理システム備品購入	15万円
・子育て発達支援センター施設備品購入	30万円
・消防備品購入	252万円
・地域活動支援センター施設備品購入	60万円
・北海道自治体情報システム協議会負担金	4,620万円
・合併処理浄化槽設置整備事業助成金	1,800万円
・修繕料	210万円
電算システム等運用に要する経費	82万円
町税過誤納還付金	720万円
戸籍電算化に要する経費	9万円
公的介護施設等基盤整備費補助金	446万円
老人保健事業特別会計繰出金	53万円
子育て応援特別手当支給に要する経費	668万円
生活習慣病・がん検診に要する経費	98万円
その他保健事業に要する経費	33万円
北方領土隣接地域振興事業に要する経費	▲324万円
その他水産振興に要する経費	967万円
漁港等管理に要する経費	15万円
消費者相談事業に要する経費	50万円
その他観光事業に要する経費	10万円
公園管理に要する経費	21万円
小学校の管理に要する経費	2,126万円
中学校の管理に要する経費	834万円
幼稚園の管理に要する経費	24万円
計	1億9,815万円

歳入

総務費負担金	133万円
水産業費負担金	7万円
総務管理費補助金	
(地域活性化・経済危機対策臨時交付金等)	1億4,238万円
地域介護・福祉空間整備等交付金	446万円
児童福祉費補助金	668万円
衛生費補助金	98万円
小学校費補助金	1,417万円
中学校費補助金	556万円
幼稚園費補助金	12万円
水産業費補助金	624万円
商工費補助金	50万円
総務費寄付金	160万円
基金繰入金	1,407万円
計	1億9,815万円

報 告

平成20年度決算に基づく健全化判断比率

区 分	実質赤字比	連結実質赤字比率	実質公債費率	将来負担比率
平成20年度決算	6.75	—	14.4	138.0
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

平成20年度決算に基づく資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	備 考
水道事業会計	—	
経営健全化基準	20.0	

条例改正

- ・羅臼町国民健康保険条例の一部改正
- ・羅臼町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更の協議
- ・北海道市町村総合事務組合規約の一部変更の協議
- ・北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更の協議

介護保険事業特別会計補正予算 432万円増

歳入
 介護給付費負担金前年度精算分 86万円
 介護従事者処遇改善特例基金繰入金 49万円
 前年度繰越金 297万円

歳出
 介護保険業務に要する経費 49万円
 国庫負担金等返還金 383万円

老人保健事業特別会計補正予算 53万円増

歳入
 一般会計繰入金 53万円

歳出
 国庫負担金等返還金 53万円

後期高齢者医療事業特別会計補正予算 24万円増

歳入
 高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金 24万円

歳出
 後期高齢者医療保険業務に要する経費 24万円

一般会計補正予算(専決処分) 172万円増

歳入
 小規模治山事業補助金 84万円
 基金繰入金 18万円
 小規模治山事業債 70万円

歳出
 小規模治山事業工事費 172万円
 地方債補正

起債の目的	補正前限度額	補正後限度額
小規模治山事業債	980万円	1,050万円

国民健康保険事業特別会計補正予算 139万円増

歳入
 介護従事者処遇改善臨時特例交付金 105万円
 出産育児一時金補助金 34万円

歳出
 国民健康保険財政調整基金積立金 105万円
 出産育児一時金 34万円

(注) 各項目において端数整理をしているため合計と内訳が一致しないことがあります。

行政報告

- ・ドクターヘリ運航開始について
- ・羅臼岳登山者の行方不明について
- ・鮮魚取扱高について

付託案件

- ・平成二十年度一般会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十年度老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十年度国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成二十年度水道事業会計歳入歳出決算認定

人事案件

◆人権擁護委員の推薦について

*山中伸行氏
 任期
 (平成二十二年一月一日～平成二十四年十二月三十一日)

*田中進氏
 任期
 (平成二十二年一月一日～平成二十四年十二月三十一日)

意見書

・道路の整備に関する意見書

※羅臼町各会計決算特別委員会

委員長 高島讓二
 副委員長 湊屋稔
 委員 松原臣
 委員 小野哲也



定例議会

質 問

2名、5件の質問が提出され、町長の考えを問いました

羅臼町は近い将来必ず訪れる超高齢社会にどのような対応していくのか

坂本 志郎 議員

羅臼町の高齢化率は現在二十二、四パーセント、十人の内二人強が六十五才以上です。近い将来三十パーセントを超えます。

当町は医療ビジョンとして「地域包括ケア」を掲げているが、「地域包括ケアシステム」とは、「おおむね三十分以内に駆けつけられる圏域で、個々のニーズに応じて医療・介護等のサービスが適切に提供できるような地域の体制である」(厚生労働省)。そしてこうした地域包括ケアシステムが構築されれば、高齢者は人生最後の時まで自分らしく生きていける、としていきます。

人生最後の時まで住みながら町で、在宅生活をできるかぎり長く送るための命

づなは介護保険制度です。

介護保険サービスは約二十種程ありますが、調べてみると、羅臼町の高齢者はこの内、四割のサービスしか受けられない、六割のサービスは高齢者施設がないため受けられません。

私は診療所改築に合わせたとなりに介護老人保健施設(老健)を設置するよう繰り返し主張してきましたが、老健を併設することで介護保険サービスのおおむね八割のサービスが可能になります。

今、高齢者施設の設置は財政が厳しいから無理と結論付けるのではなく、ではどうしたら建設資金を確保できるのか、又、運営もどのようにしたら可能なのか議論すべきです。町民にも情報を公開し、意見を求めるべきです。

高齢者対策は急務です。町のために長い人生頑張っ
てこられた高齢者の福祉・介護対策は優先的に実施すべきと考えます。

※高齢化率＝人口に占める六十才以上の割合。五十パーセントを超える限界集落と呼ばれる。

町長

地域に密着したサービスを提供できるように、施設整備も含めて検討する

安心して暮らせる地域社会を形成するためには、町民自らが主役となり健康づくりに参画し、医療・保健福祉部門が連携する必要があります。高度化する医療ニーズや多様化する介護サービスにおいても多くを望める状況ではなく、広域的視点に立って、診療所の果たす役割を構築するとともに、福祉部門では地域に密着したサービスを提供できるように施設整備も含めて検討する。

町長

坂本 志郎 議員

インフルエンザワクチンの乳幼児接種料に公的助成を

国や道の動きを見て判断する

核兵器廃絶に向けて羅臼町も非核・平和都市宣言を

坂本 志郎 議員

羅臼町は根室海峡をはさんで目の前に国後島・北方領土を望む国境の町であり又、世界自然遺産の町でもあります。その意味でも非核・平和都市宣言を行ない平和を希求する町として内外へアピールすることに極めて深い意味があると考えます。

釧根管内の自治体では、釧路市・釧路町・厚岸町・



平成21年9月17日

一

般

浜中町・鶴居村・白糠町・旧音別町・別海町そして中標津町が非核・平和都市宣言・同決議をしています。ぜひ、羅臼町も非核・平和都市の自治体宣言をすべきである。

町長

総論的には非核・平和都市の自治体宣言を羅臼町がすることにはやぶさかではない。議会と相談したい

入院、時間外救急の対応はどうなったのか

高島 讓二 議員

平成十九年三月、羅臼町国保病院は看護師不足が端を発し、以来、時間外救急入院受け入れを現在もおお停止しております。

議会の病院運営調査特別委員会の結論は、住民の安

心、安全のため、入院、二十四時間救急の受け入れ体制を求め、また女性連の方々が集めた「入院、夜間救急の受け入れを求める」署名が町側に提出された。

このように町民は、時間外救急、入院受け入れを望んでおりますが二年半経過した今もいっこうに入院、時間外救急の受け入れの兆しがない。

町は現在、診療所建替えを計画、進行しておりますが、それよりも入院、時間外救急の受け入れ等の診療体制を最優先してほしいと切望しているが。

町長

常勤医の安定的確保が必要である

町民の皆様には、入院及び時間外救急受け入れの体制が整わず、不安とご不便をおかけして、大変申し訳なく思っております。

しかし、常勤医の安定的確保がなされなければ、時間外救急受入の拡大など、

次のステップへ進めない状況にある。

環境を守る環境基本計画はどのよう
に考えているか

高島 讓二 議員

環境問題は世界的な重要課題であり、鳩山総理大臣は二酸化炭素排出を二十五%削減すると世界に向け発表しております。

「羅臼町環境白書二〇〇八」が先月八月二十七日に発表されました。

世界自然遺産「知床」を抱える本町にとっても町民の大半は知床の自然の恵みを頂いて生活を営んでいます。地球温暖化はもとより、環境の変化によって自然は影響を受けるため自然環境の保全は極めて重要であると思えます。

次世代に良好な自然環境を引き継ぐために環境の保全を啓発していかなくてはならないと考えます。

保全に対する具体的な目標や施策についてのお考えをお聞きます。

町長

「環境基本計画」を策定するため具体的に進める

今日の地球温暖化は深刻な問題となっており、町としても生活環境及び自然環境の保全は重要である。

「羅臼町環境白書」はこれまで行ってきた施策や現状を報告しております。

当町の環境の現状と課題を見つめ直し、具体的な目標や施策を実施するための「環境基本計画」の策定を具体的に進める。

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。

質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場総務企画財政課までお問い合わせ下さい。

診療所建設調査特別委員会報告

このたびの案件は、診療所の建設場所の選定が主題であるが、場所の選定は、今後の羅臼町の医療ビジョンや福祉施設の建設計画と切り離すことはできないものであり、場所の選定を大きく左右することから、福祉施設のありようと併行して建設場所の選定のための調査、検討をすすめてきた。

診療所の建設は、施設の老朽化からしても、早急な建て替えが必要なのは周知の事実である。しかしながら、施設の建設については利用者の利便性、経費の圧縮もさることながら、特に重要な視点として、福祉施設との併設又は隣接を考慮したうえで、保健・福祉・医療の各機能を複合的に整備し、町民の健康づくりを総合的にとらえた「安心して過ごせるまちづくり」をすすめることが重要である。このことは高齢化率の推移や過去の様々なまちづくりに関するアンケート等から、町民のニーズは医療の充実と福祉施設の建設にあることから明白である。

これらのことを踏まえ、先進地の視察と視察を終えての議論、そして建設候補地の視察とコストの検証や今後の人口減に伴う高齢化率の推移等を考慮すれば、駐車場などの役場庁舎敷地を含めた現在地が望ましいとの結論に達したところであるが、診療所の建設と併せ、福祉施設の建設も検討すべきとの意見の一致もあったところである。

当町が示している医療再生ビジョンを踏まえても診療所の建設のみでは町民への説得力に欠ける。町民の支援を得ながら事業を推進することを考えれば、診療所と町民ニーズの高い福祉施設の一体となった事業実施のほうが理解を得られ、多くの支援を得られるのではないかとの見解である。

赤字を抱える当町の財政事情は大変厳しいものがあるが、そのような状況だからこそ、将来の計画が画餅となることは大いに考えられる。この機会を逃す事により、将来にわたり事業実施が不可能となることが想定されるため、診療所の建設と併せ、福祉施設建設の一体的な整備について検討を願うものである。

診療所の建設場所についての報告は以上の通りであるが、本特別委員会は、今後も調査、検討すべき案件が想定されるため、委員会設置の目的が達成されるまで、引き続き継続するものであります。

記

- 診療所の建設場所については、駐車場などの役場庁舎敷地を含めた現在地にすべきである

〈附帯意見〉

- 規模や病床数を精査し、診療所と福祉施設を一体として建設すべきである
- 福祉施設については、役場庁舎の活用も含めて検討すべきである

羅臼町敬老会

高齢者のつどいに参加

九月十三日に行われた敬老会へ高齢者のつどいで、議会は羅臼町長、副町長、教育長、診療所事務長と共に、三人羽織を披露しました。

三人一組で「牛乳飲み」「シュークリーム」とあつあつの「コンニャク」を食べるといいうものでした。

町長や議長・副議長の顔が、牛乳やシュークリームでベタベタになるなど参加者の笑いを誘っていました。次回も高齢者の皆様に喜んでいただけるような催しを考えたいと思っています。



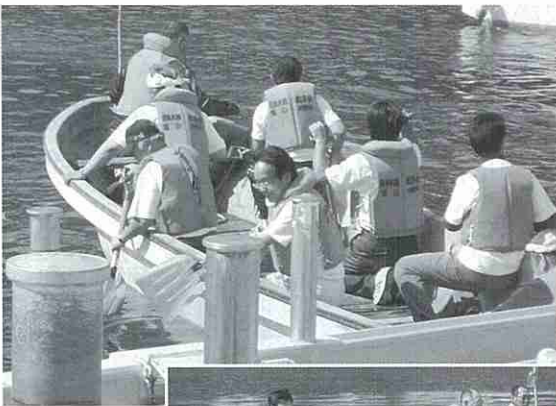
漁火まつり「第2回そらかけスコップ舟こぎレース」

九月二十日、全天候型埠頭において開催された漁火まつりで「第2回そらかけスコップ舟こぎレース」が行われ、昨年に続き羅臼町議会チームとして参加しました。

当日は風の強い中、十八チームが熱戦をくり広げました。参加チームの中で最高齢の議員チームは、スタートダッシュは良かったのですが、強い向かい風に流され力尽き、惜しくも途中棄権となってしまいました。

多くの町民の皆様に応援いただいたのですが、残念な結果となりました。

このような結果を踏まえ、議員一同、来年の健闘を誓いました。



議会の動き

8月

- 5日 第6回診療所建設調査特別委員会
25日 自衛隊転入隊員歓迎会（標津町）
29日 札幌らうす会総会 議長

9月

- 6日 第10回議長杯パークゴルフ大会 議長
10日 議会運営委員会
11日 経済文教常任委員会
12日 理事者・管理職・議員パークゴルフ大会
13日 敬老会・高齢者のつどい
14日 総務民生常任委員会
15日 議会運営委員会
17日 第3回定例会
26日 管内議長会議員研修会（別海町）

10月

- 6日 議会だより編集特別委員会
7日 第24回町長杯ゲートボール大会 議長
9日 第1回決算特別委員会
11日 第19回クナシリ眺望駅伝競走大会
13日 第2回決算特別委員会
14日 根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会研修会
第7回診療所建設調査特別委員会
21日 第3回決算特別委員会
27日 第4回決算特別委員会

11月

- 6日 第5回決算特別委員会
11日 第53回町村議会議長全国大会（東京都）
議長

九月議会は、やはり決算がメインとなりますが、その結果は十二月議会に発表となります。昨年度の決算がどうだったのか？しっかり吟味し、報告できる事と思えます。
すっかり寒くなりました。くれぐれも、御身体を御自愛下さい。

小野



管内議長会主催 議員研修会

去る9月26日、別海町にて管内議長会主催による議員研修会が行なわれました。

講演は、北海道総合政策部地域づくり支援局次長、神 姿子様による「地方自治を巡る最近の話題」と題して道の考え方やスタンスを伺いました。

その他事例紹介では、別海町の職員、登藤主査に「国営環境保全型かんがい排水事業について」としてお話しを伺いました。

根室地方森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟協議会

研修会

去る10月14日、羅臼町にて、根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会の研修会が行なわれました。

演題は「知床の自然」と題して、知床財団羅臼地区職員、田澤道広氏に講義を頂き、その後、知床世界遺産ルサフィールドハウスを見学しました。

